

# 届出

[平成19年度設置]

計画の区分：学科の設置

注1

徳島文理大学工学部(平成21年4月より理工学部に変更)臨床工学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 村崎学園  
平成21年5月1日現在

作成担当者

企画部

キカクフチョウ カマ ダ シン ジョウ  
企画部長 鎌 田 真 城

電話番号 088 - 622 - 0097

F A X 088 - 626 - 2998

e - mail kikaku1@tokushima.bunri-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「 短期大学 学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「 大学大学院 研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「 大学 学部 学科（通信教育課程）」

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 村崎学園

## (2) 大学名

徳島文理大学

## (3) 大学の位置

〒769 - 2193  
香川県さぬき市志度1314番地1

〒770 - 8560  
徳島県徳島市寺島本町東一丁目八番地

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ムラサキ マサト) 村崎 正人 (平成元年5月)		
学長	(キリノ ユタカ) 桐野 豊 (平成18年4月)		
学部長	(ナカジマ ケンイチロウ) 中島 賢一郎 (平成17年4月)	(タブチ トシアキ) 田淵 敏明 (平成21年4月)	任期終了のため(21)
学科長等	(フジムラ テツヤ) 藤村 哲也 (平成19年4月)	(タナカ コウヘイ) 田仲 浩平 (平成21年4月)	任期終了のため(21)

- (注) 1. 『(3) 大学の位置』は、届出学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。
2. 『(4) 管理運営組織』の「変更状況」欄は、変更があった場合のみ記入し、併せて「備考」欄に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。
- (例)平成21年度に報告する内容 (21)

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部(理工学部) 臨床工学科 学士(理工学)	4年	40人	- 年次人	160人	学士(工学)を学士(理工学)に変更(21) 今年度は平成22年度欄の記入は不要です。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員超過率	備 考
区分						
A 入学定員	( - ) 40人	( - ) 40人	( - ) 40人	( ) 人	0.63 倍	
志願者数	( - ) 66	( - ) 64	( - ) 47	( )		
受験者数	( - ) 62	( - ) 63	( - ) 47	( )		
合格者数	( - ) 62	( - ) 61	( - ) 46	( )		
B 入学者数	( - ) 28	( - ) 28	( - ) 20	( )		
入学定員超過率 B / A	( - ) 0.70	( - ) 0.70	( - ) 0.50	( )		

- (注) 1 ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を備考欄に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
学 年					
1年次	[ - ] 28	[ - ] 29	[ - ] 20	[ ]	
2年次	[ - ] -	[ - ] 27	[ - ] 27	[ ]	
3年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 27	[ ]	
4年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] -	[ ]	
計	[ - ] 28	[ - ] 56	[ - ] 74	[ ]	

- (注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

( 5 ) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 ( a )	入学者数 ( b )	入学者に対する 退学者数の割合 ( a / b )
平成 1 9 年度	計 [ - ] 0 人	( 累積 ) 計 [ - ] 28 人	[ - ] 0.0 %
	うち平成 1 9 年度入学者 0 人	うち平成 1 9 年度 28 人	
	( 主な退学理由 )		
平成 2 0 年度	計 [ - ] 2 人	( 累積 ) 計 [ - ] 56 人	[ - ] 3.6 %
	うち平成 1 9 年度入学者 0 人	うち平成 1 9 年度 28 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 2 人	うち平成 2 0 年度 28 人	
	( 主な退学理由 ) ・体調不良 1人 ・進路変更 1人		
平成 2 1 年度	計 [ - ] 0 人	( 累積 ) 計 [ - ] 76 人	[ - ] 0.0 %
	うち平成 1 9 年度入学者 0 人	うち平成 1 9 年度 28 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 0 人	うち平成 2 0 年度 28 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 0 人	うち平成 2 1 年度 20 人	
	( 主な退学理由 )		
平成 2 2 年度	計 [ ]	( 累積 ) 計 [ ]	[ ] %
	うち平成 1 9 年度入学者 人	平成 1 9 年度 人	
	うち平成 2 0 年度入学者 人	平成 2 0 年度 人	
	うち平成 2 1 年度入学者 人	平成 2 1 年度 人	
	うち平成 2 2 年度入学者 人	平成 2 2 年度 人	
( 主な退学理由 )			

(注) 1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数の割合」欄は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な退学理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<工学部(理工学部) 臨床工学科>

### (1) 授業科目表

授業科目の名称		配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野	文学A	<del>未開講 1・2前</del>		2								履修希望者がなかったため(21)
	倫理学A	1前		2								
	心理学A	<del>未開講 1・2後</del>		2							同上	
	歴史学A	<del>未開講 1・2前</del>		2							同上	
	社会学A	<del>未開講 1・2</del>		2							同上	
	法学A	<del>未開講 1・2前</del>		2							同上	
	経済学A	<del>未開講 1・2後</del>		2							同上	
	情報処理	1前		2			1					
	数学A	1後		2								
	数学B	1後		2								
	物理学A	1後		2								
	物理学B	1後		2			1					
	化学A	1前		2								
	化学B	<del>未開講 1・2</del>		2							同上	
	応用生物学A	<del>未開講 1・2前</del>		2							同上	
	応用生物学B	<del>未開講 1・2後</del>		2							同上	

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基	総合科目A	1前		2							科目を追加(19)
	総合科目B	1前		2							同上
	総合科目C	1後		2							同上
	総合科目D	1前		2							同上
礎	健康スポーツA <del>体育</del> → <del>スポーツ</del> A	1前		<del>1</del> 2							名称変更・単位数変更(21)
	健康スポーツB <del>体育</del> → <del>スポーツ</del> B	1後		<del>1</del> 2							同上
分	英語A	1前		1							セメスター制対応のため,名称変更・科目分割(21)
	<del>英語A</del>	<del>1-2</del>		<del>2</del>							
	英語A	1後		1							
	英語B	1前		1							同上
	<del>英語B</del>	<del>1-2</del>		<del>2</del>							
	英語B	1後		1							
	英語C	2前		1							同上
	<del>英語C</del>	<del>1-2</del>		<del>2</del>							
	英語C	2後		1							
	英語D	2前 未開講		1							同上 履修希望者がなかったため(21)
	<del>英語D</del>	<del>1-2</del>		<del>2</del>							
	英語D	2後		1							
野	独語A	2前 未開講		1							同上
	<del>独語</del>	<del>1-2</del>		<del>2</del>							
	独語A	2後		1							
文理学	1前	2								学びの動機付けに向け,初年次教育の充実を図るため,科目を追加(20)	
基礎ゼミナールA	1前	<del>2</del>	2		1					履修方法を変更(20)	
基礎ゼミナールB	1前		2							科目を追加(19)	

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通 専門 科目	線形代数学	1後		2							「基礎科学」の知識・技能の習得を目指すため、科目を追加(21)
	微分積分学	1後		2							同上
	基礎量子物理学	2後		2							同上
	構造解析学	2後		2							同上
	生命科学	1後		2							同上

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎分野	解剖学 (人体の構造と機能)	1後	2								
	解剖学 (細胞の構造と機能)	2前		2							
	生理学 (基礎生理学)	1後	2								
	生理学 (病態生理学)	2前		2							
	生化学 (生体物質論)	1後	2								
	生化学 (生体反応論)	2前		2							
	基礎医学実習	3前		1		1		2	1	1	
	医学概論	1前	2			1					
	公衆衛生学	2後	1			1					
	臨床病理学	2後	2			1					
	臨床免疫学	3後	2								
	臨床薬理学	3後	2								
	看護学概論	4前		2		1					
	生命倫理学	3後	2			1					
	関係法規	2前	2			1					
	応用物理学	2前	2			1	1				
電気工学 (基礎理論)	1後	2			1	1					

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 基 礎 分 野	電気工学（基礎回路）	2前		2		1	1					
	電気工学演習（基礎理論演習）	<del>未開講</del> 3前		1		1	1					履修希望者がなかったため(21)
	電気工学演習（基礎回路演習）	<del>未開講</del> 3後		1		1	1					履修希望者がなかったため(21)
	電気工学実験（基礎理論実験）	2前	1			1	1		1	1		
	電気工学実験（基礎回路実験）	3前		1		1	1	1		1		
	電子工学（アナログ・デジタル回路）	1後	2			1						
	電子工学（信号処理回路）	3前		2		1						
	電子工学演習 （アナログ・デジタル回路演習）	3前		1		1						
	電子工学演習（信号処理回路演習）	3後		1		1						
	電子工学実験 （アナログ・デジタル回路実験）	2後	1			1	1		1	1		

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 基 礎 分 野	電子工学実験 (信号処理回路実験)	3後		1		1		1		1	
	機械工学概論	3前	2			1					
	機械工学実験	4前		1		1				1	
	医用材料工学	3後	2			1					
	物性工学概論	3前	2			1		1			
	センサー工学	3前	2			1					
	応用数学	2前	2			1					
	情報処理工学	2後	2				1	1			
	情報処理工学演習 (基礎知識演習)	3前	1				1	1			
	情報処理工学演習 (プログラミング演習)	3後		1			1	1			
	統計学概論	3前		2				1			
	システム工学	3後	2				1	1			
	臨床工学概論 (生命維持装置論)	1前	2			1					
	臨床工学概論 (医用工学機器論)	1後	2			1		1			
臨床工学演習 (生命維持装置安全操作演習)	2前	1			1		2	1			

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
臨床工学演習 (生命維持装置安全管理演習)	2前		1		1		2	1		
生体機能工学	3後	2			1					
画像診断学演習	4前		1			1	1			
画像診断学実習	4後		1			1	1		1	
生体計測装置学	2前	2				1	1			
生体計測装置学演習	2後	1			1	1	1	2	1	
生体計測装置学実習	2後	1			1	1	1	2	1	
医用治療機器学 (医用治療機器の安全操作法)	2前	2					1		1	
医用治療機器学 (医用治療機器の安全管理技術)	2後	2					1			
医用治療機器学演習	3前		1		1		1	2		
医用治療機器学実習	3後		1		1		2		1	
生体機能代行装置学 (血液浄化装置論)	2前	2					1			
生体機能代行装置学 (呼吸治療装置論)	2後	2					1			
生体機能代行装置学 (人工心肺・補助循環装置論)	3前	2			1					

授業科目の名称		配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門	生体機能代行装置学演習 (血液浄化装置演習)	2前	1			1		2			
	生体機能代行装置学演習 (呼吸治療装置演習)	2後	1			1		2			
	生体機能代行装置学演習 (人工心肺・補助循環装置演習)	3前	1			1		2			
	生体機能代行装置学演習 (生体機能代行装置総合演習)	3後	1			1		2			
	生体機能代行装置学実習 (血液浄化装置実習)	3前	1			1		2		1	
	生体機能代行装置学実習 (人工心肺・補助循環装置・呼吸治療装置実習)	3後	1			1		2		1	
分野	医用機器安全管理学 (医用ガス・医用電源設備)	2後	2			1		1			
	医用機器安全管理学 (電撃と電磁障害対策)	3前	2					1			
	医用機器安全管理学実習	3後	1			1		2		1	
野	臨床医学総論 (呼吸器疾患)	2前	2			1					
	臨床医学総論 (循環器疾患)	2後	2			1					
	臨床医学総論 (血液病態学)	3前	2			1					
	臨床医学総論 (消化器疾患)	3後		2		1					

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門分野	臨床医学総論 (運動器官疾患)	4後		2		1					
	臨床医学総論 (移植医学)	4後		2		1		1			
	臨床医学総論 (泌尿器・生殖器疾患)	4後		2				1			
	臨床医学総論 (感覚器・脳・神経疾患)	4後		2				1			
	臨床実習	4前	4			3 4	1	2 3		1	
卒業研究	3・4	4			3 4	1	2 3				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
50	49	0	99	50	65	0	115	
				[ 0 ]	[ 16 ]	[ 0 ]	[ 16 ]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	文学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
2	心理学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
3	歴史学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
4	社会学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
5	法学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
6	経済学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
7	化学B	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
8	応用生物学A	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
9	応用生物学B	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
10	英語D	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
11	独語	2	1・2	一般	選択	履修希望者がなかったため未開講
12	電気工学演習 (基礎理論演習)	1	3	専門	選択	履修希望者がなかったため未開講
13	電気工学演習 (基礎回路演習)	1	3	専門	選択	履修希望者がなかったため未開講

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
該当なし						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

履修希望者がなかったため未開講とした。特に問題はない。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.13}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は，設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに，[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- 3 「(3) 未開講科目」は，届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は，届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

## 6 その他全般的事項

<工学部(理工学部) 臨床工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### 実施体制

##### a 委員会の設置状況

全学組織としてFD研究部会が設置され，その下部組織として理工学部内に自己点検自己評価WG委員会が設けられている。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

自己点検自己評価WG委員会は，年に6回程度開催され，各学科の委員が1名（臨床工学科教員1名）が出席している。

##### c 委員会の審議事項等

学生による授業評価アンケート（設問項目，実施方法，集計，評価の検討，公表），研究授業（時期，担当教員の選択，授業評価検討），研修会への参加等

実施状況 実施されている取組を全て記載すること。

##### a 実施内容

- ・ 授業方法について研修会参加
- ・ 授業評価アンケート
- ・ 研究授業と授業参観

##### b 実施方法

- ・ 研修会参加を促進：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（平成20年度文部科学省戦略的大学連携支援事業）研修プログラムに，理工学部として参画し，平成20年9月9日本学香川キャンパスにて「本学のFDを考える会」報告研修会を開催した。
- ・ 授業アンケート：学生による後期授業評価をマークシート形式で記入，集計後，学生が自由に閲覧できるように各教員の研究室前に掲示を行った。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

教員相互の授業参観：年1回開催され，昨年度及び本年度までに3名の教員が研究授業を実施した。

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業評価アンケート結果，および担当教員の結果に対するコメントおよび改善点等を学生に公表することにより授業改善をめざす。
- ・ 研究授業後，授業者・参観教員で研究会を行い，改善点等を検討した。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床工学科としては、学士課程教育の一層の充実をめざし、教員の基盤活動（教育、研究、大学管理運営、および社会貢献）に関する自己点検・評価を実施している。とくに教育に関しては担当科目毎の目標を明らかにし、達成度状況を自己評価し、授業改善に努力している。

#### 自己点検・評価報告書

##### a 公表時期

- ・ 毎年5月に公表している

##### b 公表方法

- ・ 自己点検・評価（研究、教育、社会貢献をまとめ）に関して各教員毎に毎年「工学部年報（自己点検・評価を含む）」を発行し、公開している。
- ・ 学生に対しては、授業アンケートを基に、各教員が担当科目毎に自己点検・評価の報告書を作成し、学内の各研究室前に掲示。

#### 認証評価を受ける計画

- ・ 平成22年度に評価機関((財)日本高等教育評価機構)の評価を受ける予定である。

(4) 情報提供に関する事項

設置届出書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) ( 平成21年度中 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置届出書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.bunri-u.ac.jp> )

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 ( 有 ・  無 )
- b 公表予定時期 ( 平成21年度中 )
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
( <http://www.bunri-u.ac.jp> )

- (注) 1 項目は、1～5の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- 2 「(1) 設置計画変更事項等」の記入事項は、原則として、設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- 3 「(3) 自己点検・評価等に関する事項」については、届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- 4 「(4) 情報提供に関する事項」の「 」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。  
また、「 」又は「 」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。  
なお、「 」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先( 大学) 」としてください。